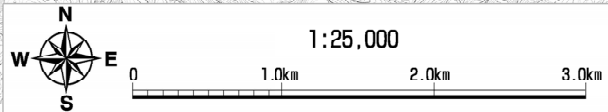


津幡町地震ハザードMAP

危険度マップ

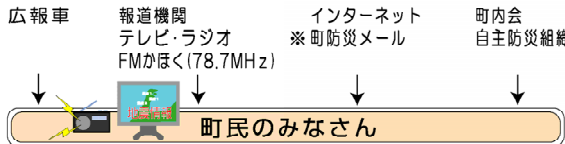


この地図の使い方

- みなさんの住んでいる地域が、最大でどのくらいの大きさの揺れが想定されるか確認しましょう。
- 大きな地震が発生した場合には、津幡町の各小学校が指定避難場所として開設されます。地震後の被害状況や避難場所の利用状況などによっては、町内のその他の施設も避難場所として開設されることがあります。
- いざという時に備え、あなたの家から避難場所までの経路をあらかじめ確認し、家族の連絡先などを書き込んでおきましょう。

情報伝達経路

津幡町災害対策本部 TEL:288-2120
◎地震情報 ◎避難情報



※津幡町メール配信サービス

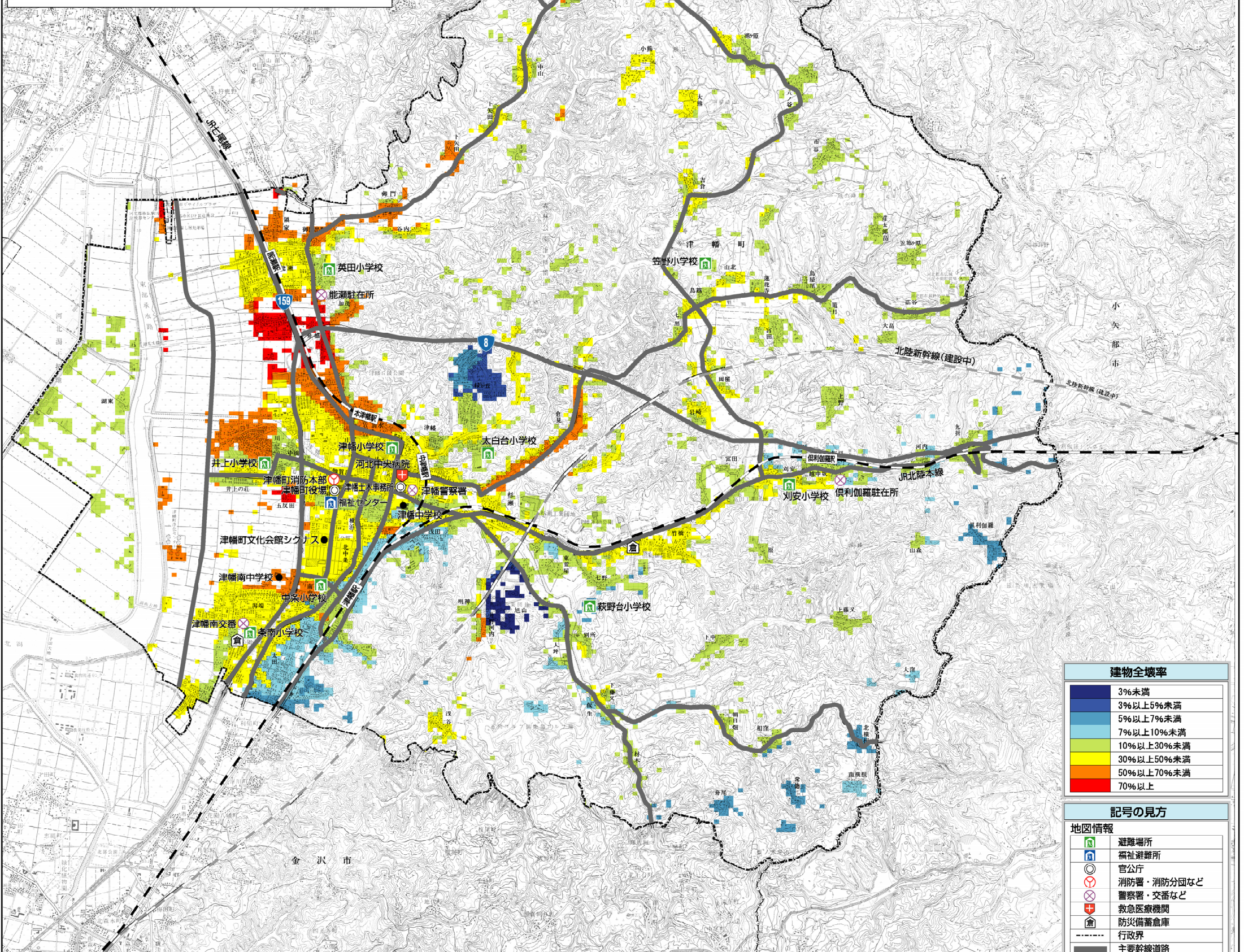
携帯電話等へ、本町区域内防災情報や避難情報等を電子メールでお知らせするサービスです。(登録は無料です。)
※携帯電話のメール受信については、各携帯電話業者が定める受信料がかかります。

- ◎配信内容
 - 防災・気象(避難情報、気象警報等)
 - 火災・消防(火災案内等)
 - 防犯・交通(道路規制情報等)
 - 生活・その他(クマ情報等)

◎登録方法

下記メールアドレス、またはQRコードを読み取って空メールを送信し、案内に従って登録してください。
また、迷惑メール対策をしている方は、助からのメールを受信できるように下記ドメイン、またはメールアドレスを受信できるように設定を変更してください。

ドメイン: town.tsubata.lg.jp メールアドレス: info@town.tsubata.lg.jp



建物全壊率	
3%未満	3%以上5%未満
5%以上7%未満	7%以上10%未満
10%以上30%未満	30%以上50%未満
50%以上70%未満	70%以上

記号の見方	
避難場所	福祉避難所
官公庁	消防署・消防分団など
警察署・交番など	救急医療機関
防災備蓄倉庫	行政界
主要幹線道路	

施設名	電話番号	施設名	電話番号
津幡小学校	288-8511	笠野小学校	288-8651
太白白小学校	288-8522	英田小学校	288-8533
中条小学校	289-2206	刈安小学校	288-8661
条南小学校	288-8871	萩野台小学校	288-1341
井上小学校	288-8261	福祉センター	288-2121

施設名	電話番号	施設名	電話番号
津幡町消防本部	288-3000	河北中央病院	289-2117
津幡警察署	288-3111	河内谷ふれあいセンター	287-1001
能瀬駐在所	288-2174	津幡町文化会館シグナス	288-8526
津幡南交番	288-7010	津幡中学校	289-2213
倶利伽羅駐在所	288-1150	津幡南中学校	288-7420

施設名	電話番号
津幡土木事務所	289-4161
石川山本健康福祉センター	289-2177

津幡町役場
〒929 0393
石川県河北郡津幡町字加賀爪二3
総務部総務課
TEL:288-2120 FAX:288-6358
E-mail:soumu@town.tsubata.lg.jp
津幡町ホームページ
http://www.town.tsubata.lg.jp/

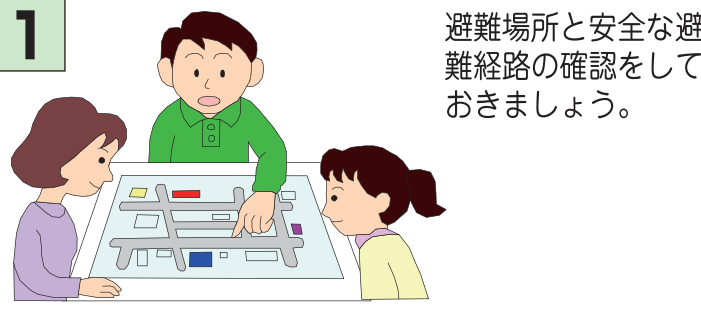
※状況によっては、上記以外の施設を避難場所として開設する場合があります。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号) 平17北地 第3号

大地震から我が家を守る心得

日頃からの備え

1



避難場所と安全な避難経路の確認をしておきましょう。

避難場所や避難路の確認

2



避難する時の荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。

避難時持ち出し品の準備

避難時の心得

1



テレビやラジオなどで最新の地震情報、災害情報、避難情報、気象情報を確認しましょう。

正確な情報収集を

2



避難する前に電気のブレーカーを切り、ガスなどの火元を消し、避難場所を確認しましょう。

避難する前に

3



避難する時は動きやすい格好で、2人以上での避難を心がけよう。

2人以上での避難を

4



お年寄りや子供、身体の不自由な方などに協力をし、早めに避難しましょう。

お年寄りなどの避難に協力を

避難場所での心得

1



避難場所では、係員の指示に従いましょう。ルールとマナーを守り、みんなで協力しましょう。

避難場所での過ごし方

2



地震情報などを、落ち着いて待ちましょう。ラジオやテレビからの情報収集に努めよう。

避難場所での情報収集

揺れやすさマップとは？

地震の規模を表すマグニチュード、揺れを表す震度

マグニチュードとは

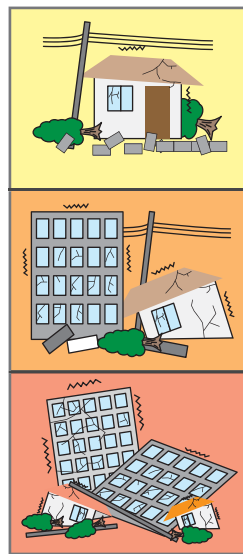
地震の規模の大小を表すのがマグニチュードで、「M」で表します。一般にM7以上の地震を大地震、M8以上の地震を巨大地震と呼びます。

揺れを表す震度とは

地震が発生した時、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。従来は震度1～7までの8階級でしたが、平成8年10月から震度5、6をそれぞれ強、弱に分け10階級に改正されました。同時に「微震」、「弱震」、「烈震」などの呼び名を廃止しました。

計測震度	震度階級	状況
0.5	0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。
	1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。
1.5	2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。
	3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人の大半が、目を覚ます。
2.5	4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。
	5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。耐震性の低い住宅では、壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
5.0	5強	大半の人が、物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。耐震性の低い住宅では、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
	6弱	立っていることが困難となる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。耐震性の低い住宅では、壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。
6.0	6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできない。耐震性の低い住宅では、壁などに大きなひび割れ・亀裂が入り、傾くものや、倒れるものが多くなる。
	7	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。耐震性の低い住宅では、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。

揺れやすさマップで
想定される震度



避難時の持ち物

避難時にはしっかり持ち物の確認をしましょう。

ヘルメット

ロープ

軍手

杖

歩きやすい靴

懐中電灯・乾電池

衣類・下着類

タオル・洗面用具

救急箱・常備薬

現金・貴重品

飲料水・非常食

ラジオ

携帯電話

point

- 自分にあった重さで準備
- 水道、電気等ライフラインが止まった場合を想定
- お年寄りや子供への配慮

その他必要に応じて準備しておきましょう

ちり紙、ミルク、ほ乳瓶、紙おむつ、毛布、ヘルメット、携帯ナイフ、ドライシャンプー、軍手、携帯袋、石けん、使い捨て食器、携帯食、レジャーシート、携帯電話の充電器 など

避難持ち出し用 防災メモ

我が家の避難場所：
家族の集合場所：
災害時の連絡先：
家族の名前 生年月日 血液型 既往症 会社・学校の連絡先

耐震化の必要性

耐震診断、耐震改修の助成制度

平成7年阪神・淡路大震災が発生しました。10万棟を超える建物が全壊し、5500人あまりの尊い命が失われ、その多くは建物の下敷きなどによるものでした。さらに倒れた建物は火災の発生、避難や救援・消火の妨げになり、被害の拡大を招きました。また昭和56年以前の建物は古い耐震基準に基づいており、耐震性が低く、揺れによって大きな被害を受けました。そこで町では耐震化のために支援事業を実施しています。詳しくは、都市建設課までご確認ください。

耐震診断の助成制度

建築物の耐震性が確保されているのかを判断するためには、耐震診断を行う必要があります。津幡町では木造住宅*の耐震診断費の一部を助成しています。

耐震診断：補助率3/4、限度額9万円

耐震診断の評点と判定

	◎	評点1.5以上	倒壊しない
	○	評点1.0以上1.5未満	一応倒壊しない
	△	評点0.7以上1.0未満	倒壊する可能性がある
	×	評点0.7未満	倒壊する可能性が高い

耐震診断の評点1.0未満と判定された木造住宅*には下記の耐震設計・改修の助成制度を受けることが可能です。

耐震改修の助成制度

耐震診断の評点1.0未満と判定された木造住宅*を対象とし、評点1.0以上となる耐震改修工事を行う住宅所有者に対して改修工事費の一部を助成しています。

耐震改修：一般地区 補助率2/3、限度額50万円
重点地区 補助率2/3、限度額70万円

※昭和56年5月31日以前に建築または工事に着手した木造住宅が対象となります。

このような改修で耐震性アップ

基礎の補強

基礎がしっかりしていないと、大きな地震の際に住宅が倒壊・大破する危険性が高くなります。無筋のコンクリート基礎に鉄筋入りの基礎を増設し基礎を補強するなどの工法があります。

部材の接合、耐力壁の設置

木造住宅は、壁、柱、梁が一体となって地震に耐えるようになっています。これらの接合が外れると住宅は、倒壊、大破してしまいます。これを防ぐためには、接合部を金物でしっかり補強することが重要となります。また、筋かいや構造用合板が入った耐力壁を建物全体に、バランスよく配置することによって、地震力に抵抗させることができます。

床の補強

地震の力に抵抗する耐力壁をうまく機能させるためには、耐力壁どうしをつなぐ床面などを補強することも重要となります。床に火打ち梁や構造用合板を設置するなどの補強方法があります。

部材の交換

柱、土台などの構造上重要な部材がシロアリなどによって被害を受け腐食することがあります。このような場合は、腐朽した部分を新しい部材に交換し健全な状態に戻すことが必要です。

耐震診断・改修に係る助成制度の問い合わせ先

津幡町産業建設部都市建設課 TEL:288-6703

液状化マップとは？

液状化マップ

液状化マップは、揺れやすさマップに示される震度に達した場合の、液状化のしやすさを表したものです。液状化とは、地震の揺れによって地面が揺すられ一時的に液体のようになってしまう現象です。主に埋立地や河口の砂質地盤などにおいて発生し、そこにある建物を傾けたり、沈ませたりする被害を引き起こすおそれがあります。

液状化のしやすさ

大	
中	
小	

気象・災害時の情報入手方法

緊急地震速報

緊急地震速報とは、気象庁が地震直後の小さな揺れをとらえて大きな揺れの前に震度や震源などを予測して情報を発表するものです。気象庁は、最大震度5弱以上の強い揺れが予測された場合に、震度4以上が予測される地域を広く一般に発表します。テレビとラジオのすべての放送波で速報します。

緊急地震速報(気象庁) <http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/>

災害時の文字の伝言板携帯電話災害用伝言板

携帯電話を使用して文字の伝言が利用可能です。

● NTTDoCoMo：iモード→iMenu→トップメニュー → 災害用伝言板
大規模災害が発生した場合、「iMenu」のトップに「災害用伝言板」が追加され、ご利用が可能となります。他社携帯・PHSおよびパソコンなどから安否情報を確認するには、<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

● au：EZweb→トップメニュー → 災害用伝言板
他社携帯・PHSおよびパソコンなどから安否情報を確認するには、<http://dengon.ezweb.ne.jp/>

● SoftBank：Yahoo!ケータイ→トップメニュー → 災害用伝言板
他社携帯・PHSおよびパソコンなどから安否情報を確認するには、<http://dengon.softbank.ne.jp/>

NTT災害用伝言ダイヤル171

災害発生時は、安否確認や問い合わせなどで電話回線がたいへん混雑します。このような場合は災害用伝言ダイヤルをご利用ください。

● 伝言の録音方法 171
↓ 音声案内
1
↓ 音声案内

● 伝言の再生方法 171
↓ 音声案内
2
↓ 音声案内

被災地の方はご自宅の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。
被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

(076)-XXXX-XXXX
↓ 音声案内

(076)-XXXX-XXXX
↓ 音声案内

録音(30秒以内でお話ください) 9# 音声案内

再生 9# 音声案内

災害用伝言ダイヤルは、毎月1日に体験利用できます。災害発生に備えて利用方法を事前に覚えておきましょう。